



後発医薬品使用促進に向けた 八尾市保健所の取り組み

八尾市について

市制施行	昭和23年4月1日
市域面積	41.72km ² (大阪府 1,905.14 km ²)
人口	266,349人 (R1.12.31現在) (大阪府 8,825,075人) (R.2.1.1現在)
医療施設	病院 11 (R2.1.29現在,以下同じ)
	診療所(医) 218
	診療所(歯) 140
	薬局 101



平成30(2018)年4月、中核市に移行し、保健所を設置すると共に、薬事関係の権限の一部が大阪府から移譲されました。



八尾市の目標

後発医薬品利用率(数量ベース) 80%

(八尾市国民健康保険第2期データヘルス計画(2018~2023年度))

八尾市における後発医薬品の使用割合 (数量ベース)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
八尾市	56.9% 15位	61.9% 16位	67.4% 13位	72.7% 9位	<u>78.2%</u> 7位
大阪府	55.3% 42位	60.2% 41位	65.5% 42位	70.0% 42位	<u>75.1%</u> 43位
全国	58.4%	63.1%	68.6%	73.0%	<u>77.7%</u>

※ 1 データは厚生労働省「調剤医療費(電算処理分)の動向」参照

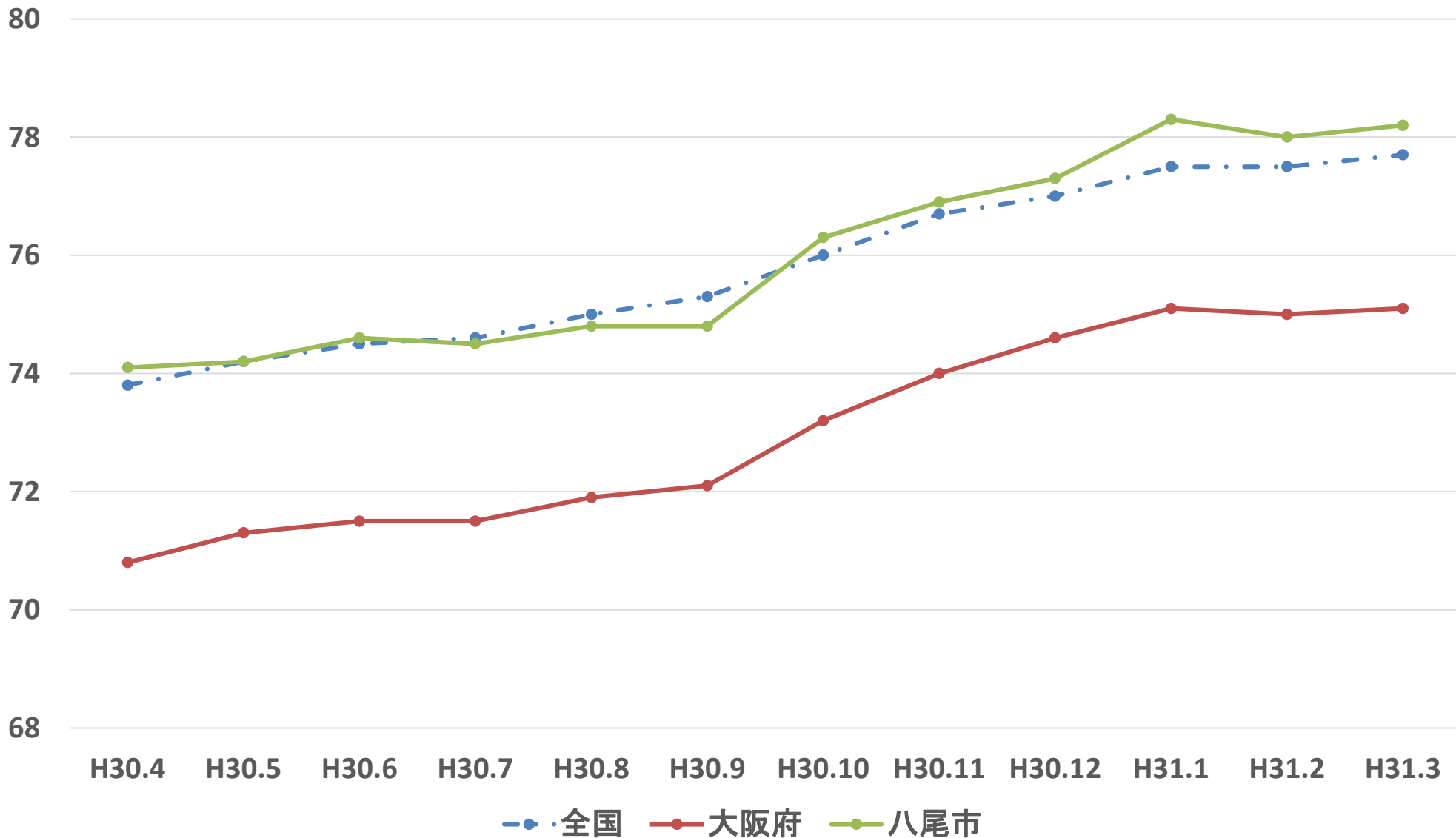
※ 2 各年度末時点

※ 3 順位は、八尾市は府内順位、大阪府は都道府県順位を記載



後発医薬品の使用割合(数量ベース)の動向

平成30年度月別 全国、大阪府、八尾市



八尾市における後発医薬品安心使用促進事業 (医薬品適正利用等啓発事業)

平成30年(2018年)度の取組み

全体

対象：医療関係者

対象：市民（患者）

1 懇話会

2 病院採用 GE調査

3 薬剤師 意識調査

4 市民啓発・ 意識調査

5 おくすり手帳の 活用

医薬品を適正使用するための現状把握及び具体的方策について、関係者から意見の聴取をおこなうために
(下段に続く)

八尾市内の病院が採用している後発医薬品リストを作成し、市のHP上で公開した。

薬剤師対象のアンケート調査の結果、フォーミュラを知らないとの回答は59.0%であった。

市民対象のアンケート調査の結果、95.6%がGEを認知していたが、GEを使いたいという回答は62.0%であった。

八尾市薬剤師会の協力のもと、おくすり手帳を活用していただくよう、処方薬を服用している市民を対象に、広報を行う。

令和元年(2019年)度の取組み

「八尾市医薬品懇話会」を開催する。
(R2.2.4開催)

後発医薬品リストを更新・改良し、より多くの方に利用いただけるよう紙媒体でも配布する。

薬剤師だけでなく、医師・歯科医師にもフォーミュラを知っていただく機会を設ける。

市民のGE使用意向を高めるため、**病院で**、府のGE安心使用プロジェクトを展開する。

(前年度から継続して実施)

後発医薬品=GE
=ジェネリック医薬品 4

1 八尾市医薬品適正使用に関する懇話会

● 医薬品を適正使用するための現状把握及び具体的方策について、外部有識者を交え、専門的な見地から幅広く意見を聴取することを目的に設置

● 懇話会の委員は、以下の組織に所属する者

- | | |
|------------|--------------|
| (1) 医療関係者 | (一社)八尾市医師会 |
| | (一社)八尾市歯科医師会 |
| | (一社)八尾市薬剤師会 |
| (2) 八尾市関係者 | 八尾市立病院 |
| | 八尾市保健所 |

● 令和2年2月4日に開催



2 八尾市内の病院における採用後発医薬品リスト

市内の病院（全11病院）の協力のもと、地域の医療機関や薬局において、GEを採用する際の参考にしていただくために、病院が採用しているGEの品目リストを作成した。（令和元年10月1日時点）

	内用薬	外用薬	注射薬	歯科用
成分数	283	78	135	3
後発医薬品数※	857 (-10)	207 (+3)	357 (+13)	5 (+2)

※規格違いを含む。()内は前年度比

- 1年に1回を目途に更新予定
- 先発品か否か等の情報は、厚生労働省の「薬価基準収載品目リスト(2019年10月1日版)」で判定

公表方法

(令和2年3月公表予定)

- 八尾市保健所のHP

<https://www.city.yao.osaka.jp/0000046711.html>

に掲載

- 市内の医療機関・薬局に、冊子にして配布

今年度版の改良点

- 【1】 オーソライズドジェネリック(AG)、バイオ後続品 (BS) の情報を追加
- 【2】 成分名だけでなく、先発品名で検索できるよう索引を追加

リストの特徴

【1】 分類方法と掲載順

厚生労働省の「薬価基準収載品目リスト」と同様に、4つ（内用、外用、注射、歯科用）に分類し、薬効分類別（薬価基準収載医薬品コード順）に掲載

【2】 薬価情報

後発医薬品の薬価と先発品（準先発品※、代表すると思われる品目を含む）の薬価を記載し、薬価差が分かるように記載

※準先発品：昭和42年以前に承認・薬価収載された医薬品であって、同一剤形・規格で価格差のある後発医薬品があるもの

フォーミュラリとは

●わが国では、厳密な定義はありませんが、一般的には、「**医療機関等において医学的妥当性や経済性等を踏まえて作成された医薬品の使用方針**」を意味するものとして用いられています。

米国病院薬剤師会では、「疾患の診断、予防、治療や健康増進に対して、医師を始めとする薬剤師・他の医療従事者による臨床的な判断を表すために必要な、継続的にアップデートされる薬のリストと関連情報」と定義されています。

(令和元年11月21日厚生労働省社会保障審議会医療保険部会資料より)

●「フォーミュラリー」や「使用ガイド付き医薬品集」と表記されることもあります。

3 医師・歯科医師（処方側）と薬剤師（調剤側）にフォーミュラリを知っていただくための取り組み

● 啓発（チラシ配布）

- ＜時期＞ 2020年3月(予定)
- ＜対象＞ 八尾市内の全ての病院・診療所（医科及び歯科）・薬局
- ＜内容＞ フォーミュラリの実例や策定の流れ等を紹介するもの

● 研修会開催

- ＜日時＞ 2019年7月21日
- ＜対象＞ 八尾市内に勤務する薬剤師
- ＜内容＞ 「フォーミュラリの現状と課題」
 聖マリアンナ医科大学
 客員教授 増原 慶壮先生

とこの話題 フォーミュラリをご存知ですか？

令和2年2月 八尾市保健所保健企画課

フォーミュラリとは

医療機関における患者に対して最も有効で経済的な医薬品の使用における方針のことです。
 米国家薬剤師会では、「疾患の診断、予防、治療や健康増進に対して、医師を始めとする薬剤師・他の医療従事者による臨床的な判断を表すために必要な、継続的にアップデートされる薬のリストと関連情報」と定義されています。
（平成27年11月20日厚生労働省社会保障審議会医療保険部会資料より）

【例】消化性潰瘍治療薬（PPI/プロトンポンプ阻害剤）のフォーミュラリ

（平成27年11月20日厚生労働省社会保障審議会医療保険部会資料より）

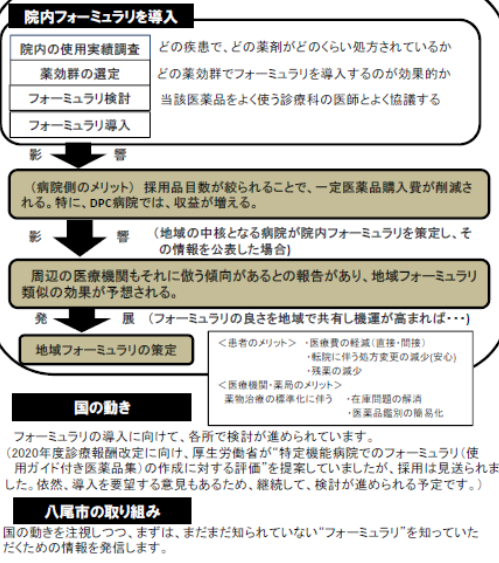
第一選択薬	第二選択薬	第三選択薬
<ul style="list-style-type: none"> ●オメプラゾール（後発品） ●ランソプラゾール（後発品） ●ラベプラゾール（後発品） 	<ul style="list-style-type: none"> ○パリエット*錠（先発品） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ネキシウム*懸濁用顆粒（料限定）（先発品） ○タケキャブ*錠（料限定）（先発品）

必要性（関連ガイドラインにおける扱い等）、安全性（副作用、禁忌）、品質（安定性試験）、製剤工夫、情報提供、安定供給、経済効果などを踏まえ、使用する薬の優先順位を決めます。
 なお、最終的な処方判断は医師がおこなうので、医師の処方権は侵しません。また、標準的な薬剤で対応できる患者に対する薬の使用方針です。

消化性潰瘍治療薬（PPI/プロトンポンプ阻害剤）一覧

＜成分名：オメプラゾール＞	先発品：オメプラゾール*	オメプラゾン*	後発品：あり
＜成分名：ランソプラゾール＞	先発品：タケロン*		後発品：あり
＜成分名：ラベプラゾール＞	先発品：パリエット*		後発品：あり
＜成分名：エソメプラゾール＞	先発品：ネキシウム*		後発品：なし
＜成分名：ボノプラザン＞	先発品：タケキャブ*		後発品：なし

院内地域の基幹となる病院がフォーミュラリを導入した場合周辺に及ぼす影響



（素案（未定稿））

（令和元年7月29日付薬事日報から転載）

4 市民啓発(病院における患者啓発)

八尾市内の病院の協力のもと、**病院** 薬剤師が患者に対し、説明パネルなどを活用しながら、後発医薬品について丁寧な説明を実施した。



- 大阪府が作成した説明パネルをもとに、八尾市版のパネルを作成
- 大阪府のパネル配布対象は薬局であったので、八尾市では、市内の全病院に説明パネルを配布し、啓発の充実化

4 「知ろう 自分の健康！ふれよう ジェネリック！」

人生100年時代をより長く、より健康に快適な暮らしを送るための知識を身につけていただけるよう「健康と予防への取組講座」と「ジェネリック医薬品体験学習会」を開催した。



<日にち> 2019年11月14日

<場所> 八尾市文化会館

<対象> 地域住民

<内容>

- 「ロコモ対策講座」「ロコモ度テスト」 貴島浩二先生（貴島中央病院 院長）
- 薬に触れる体験（五感を通じてジェネリック医薬品を知る）
- 看護師による健康相談コーナー（八尾市立病院）

<主催者>

共催：厚生労働省、大阪府（大阪府後発医薬品安心使用促進のための協議会）
大阪府保険者協議会、日本ジェネリック製薬協会

後援：日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、大阪府医師会、大阪府歯科医師会、
大阪府薬剤師会、八尾市、八尾市医師会、八尾市歯科医師会、八尾市薬剤師会等

5 おくすり手帳の活用を促す取組み

【現状】

院外処方せんには、薬の「一般名」が記載されることが多くなっている。この場合、処方した医師から、「実際患者さんに調剤された医薬品の銘柄や剤型が分かりづらい。」との声があがっていた。

【対策】

処方医に、調剤された医薬品の情報が伝わるよう、医療機関を受診するときにも、お薬手帳を持参するよう、患者さんに働きかける。

【方法】

市内の病院・薬局で、患者さんに対し啓発（チラシ配布と声かけ）



ジェネリック医薬品とは・・・ にもお持ちください！

新薬 先発医薬品 の特許期間が満了した後に発売される同じ有効成分を使った品質、効き目、安全性が同等で、低価格のおくすりです。

お薬手帳をお持ちでない方は、「かかりつけ薬剤師・薬局」にお申し出ください。「かかりつけ薬剤師・薬局」を決めない方は、普段から利用する薬局を一つ「かかりつけ薬局」に決めて、ご相談ください。

※医療用医薬品は、医師の診断によって処方されるおくすりです。
※一般用医薬品は、いわゆる市販薬（大衆薬・OTC）にもよっています。）とこのことで、薬局やドラッグストアなどで、処方箋がなくても購入できるおくすりです。

医薬品

- 医療用医薬品
- 一般用医薬品

新薬 **ジェネリック医薬品**

経済性に優れ、患者さんの負担額を軽減します。

品質、有効性、安全性は新薬と同じです。

患者さんに優しい製剤工夫がされているものもあります。

八尾市保健所 保健企画課 072-994-0661
【開庁時間】 8:45 ~ 17:15

八尾市立病院について

八尾市立病院ご案内

市民に愛され、職員が誇りを持てる病院・・・、
それが私たちの目標です。



総 長	星田 四朗
病 院 長	田村 茂行
所 在 地	八尾市龍華町1-3-1 (最寄り駅: JR大和路線・おおさか東線 久宝寺駅)
診 療 科 目 (21診療科)	内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、歯科口腔外科、病理診断科
病 床 数	380床
認定・指定	地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、地域周産期母子医療センター、日本医療機能評価機構認定病院、救急告示指定病院 他

八尾市立病院における後発医薬品の採用状況と院内フォーミュラリについて

● 八尾市立病院における後発品切り替えの推移

平成25年	平成26年	平成27年	平成28～30年	平成31年
造影剤	抗がん剤	採用基準の一部変更	後発医薬品指数90%	フォーミュラリ検討
			<ul style="list-style-type: none"> ➤ 入院での使用量が多い品目から切り替える。 ➤ 新たに発売された後発品については、可能な限り速やかに切り替える。 ➤ 持参薬等の限定購入医薬品は、後発品を優先的に購入する。 ➤ 適応症が一致していない品目も、診療上差し支えない範囲で切り替える。 	

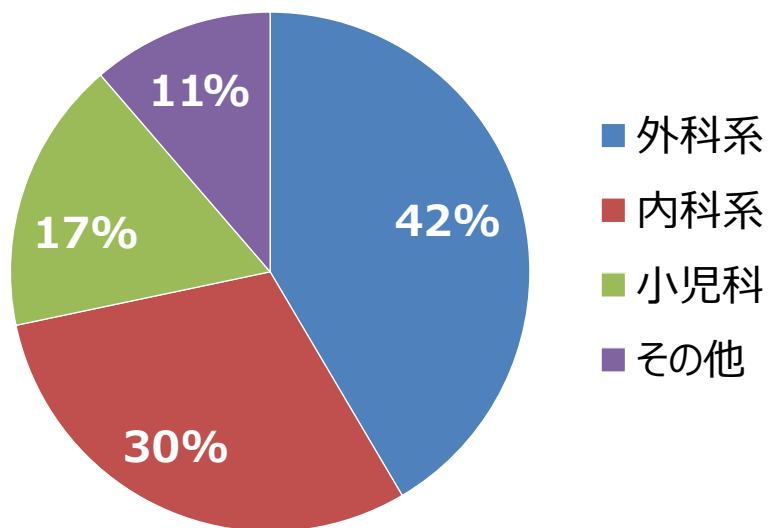
● 薬事委員会における議論

2019年6月	フォーミュラリについての情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ◆ フォーミュラリとは ◆ フォーミュラリ導入のプロセス(先行事例の紹介) ◆ フォーミュラリ案 (PPI注射剤) ⇒ 年間の削減効果
2019年10月	全医師を対象に、フォーミュラリに対する意識調査を実施
2019年12月	意識調査の結果を報告 フォーミュラリ策定手順を承認
2020年1月迄	診療科部長にフォーミュラリ原案をヒアリングシートとともに配布
2020年3月迄	(予定) フォーミュラリを承認

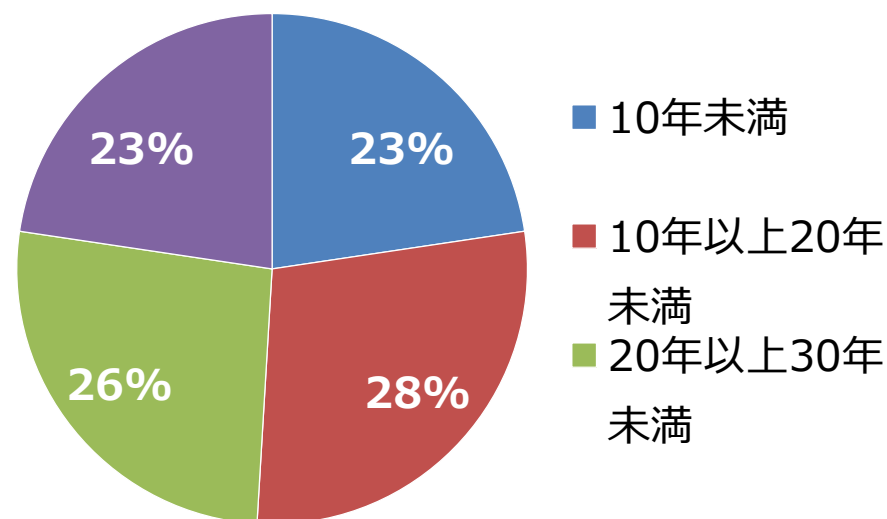
フォーミュラに関する意識調査（その1）

● 122名に配布→53名から回答（回答率：43.4%）

所属（診療科）別回答数



経験年数別回答数



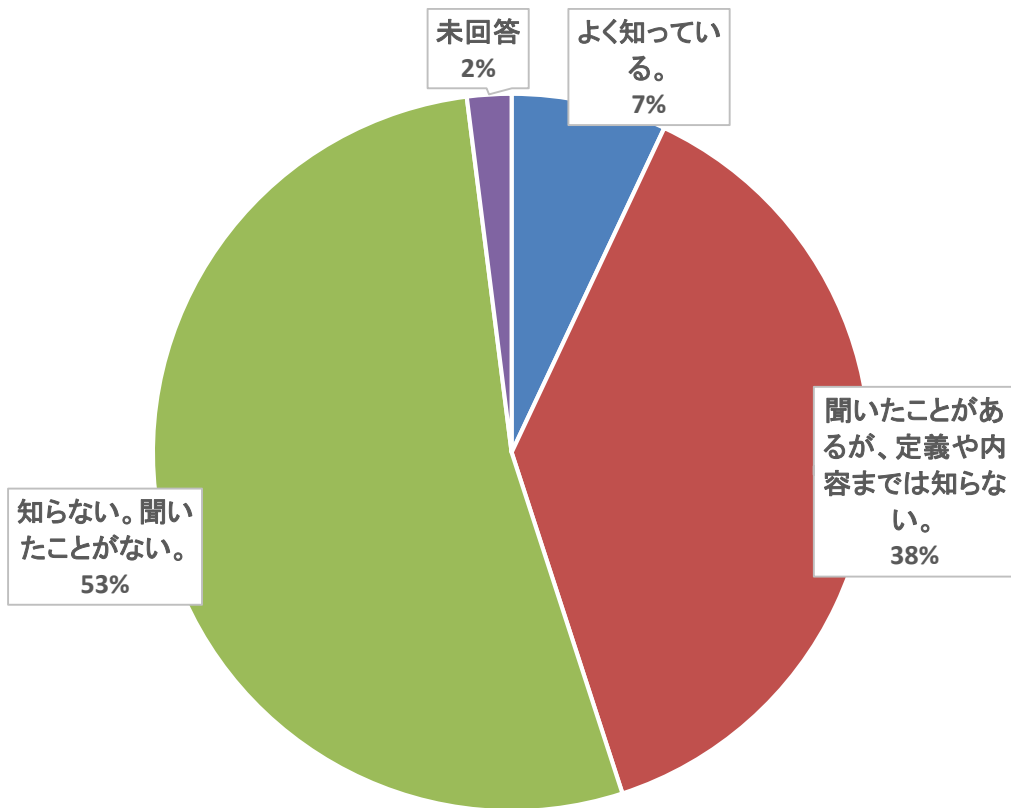
外科系：スポーツ・関節外科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、整形外科、脊椎外科、乳腺外科、脳神経外科、泌尿器科、呼吸器外科

内科系：緩和ケア内科、腫瘍内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、内科、血液内科

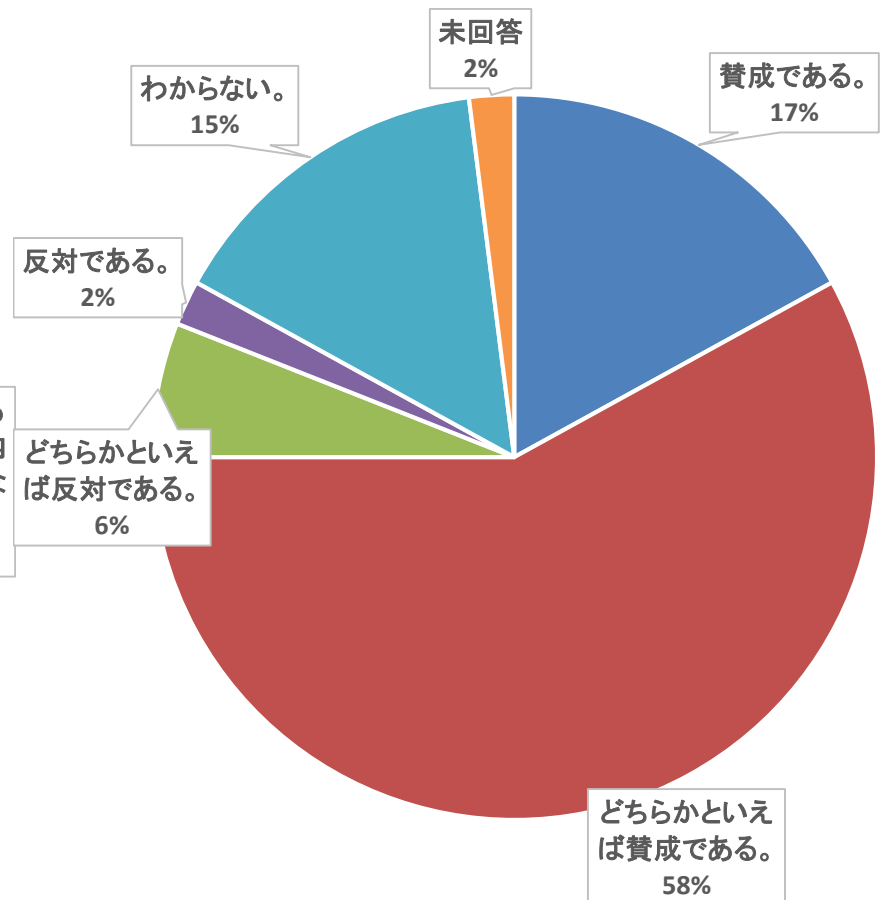
その他：診療局、放射線治療科、麻酔科

フォーミュラに関する意識調査（その2）

フォーミュラ（推奨薬リスト）をご存知ですか？



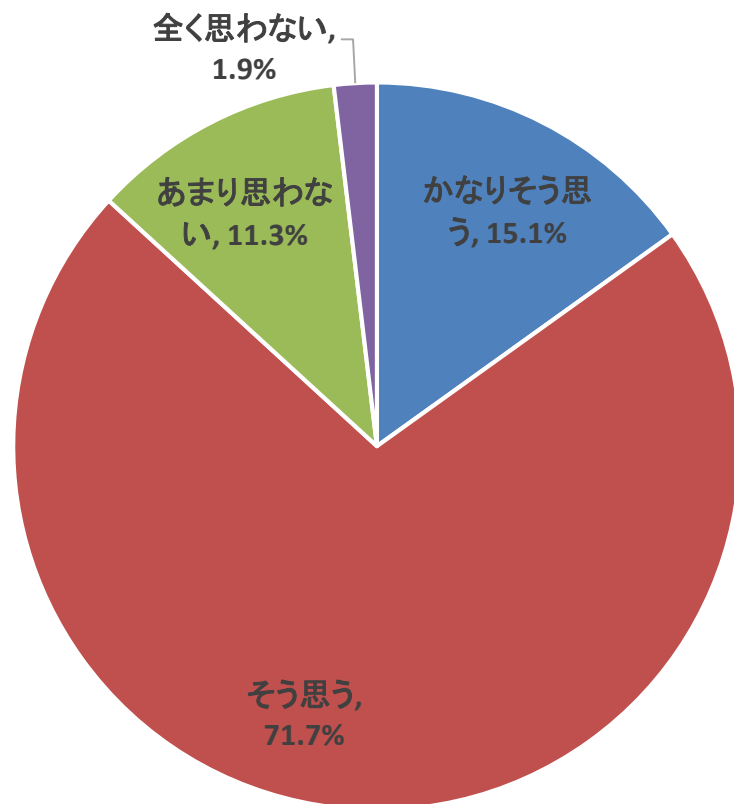
フォーミュラ（推奨薬リスト）の考え方についてどのように思われますか



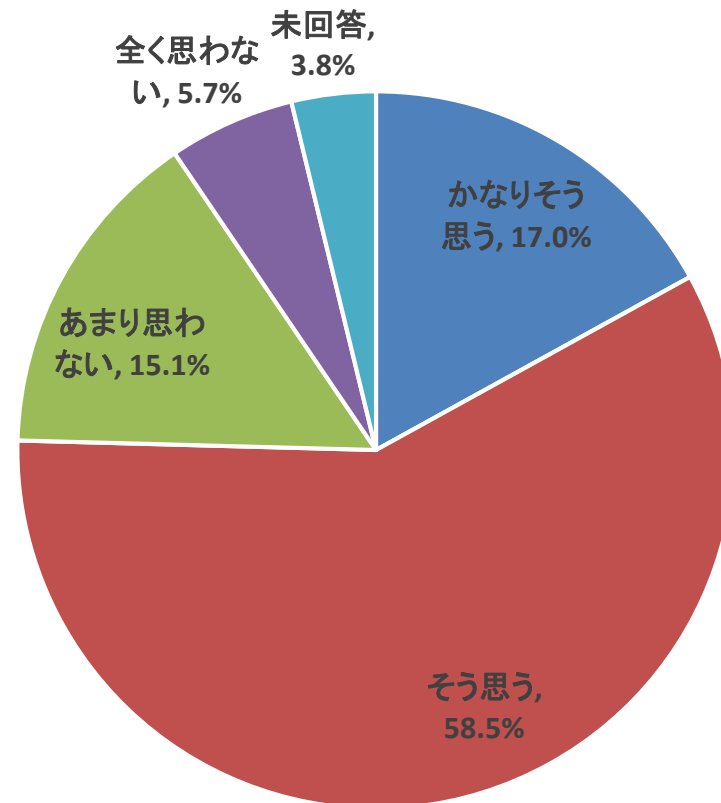
フォーミュラに関する意識調査（その3）

● 八尾市立病院でフォーミュラを作成するにあたって思われること

1 “標準的な薬物療法”を院内で共有できる



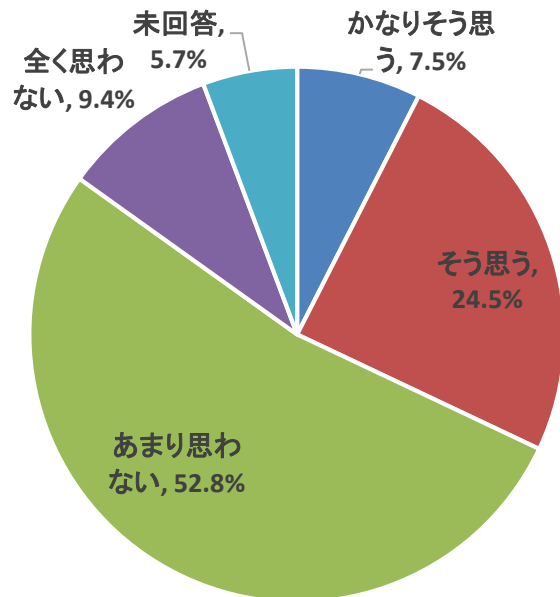
2 専門外の薬物療法でも安心して治療が行える



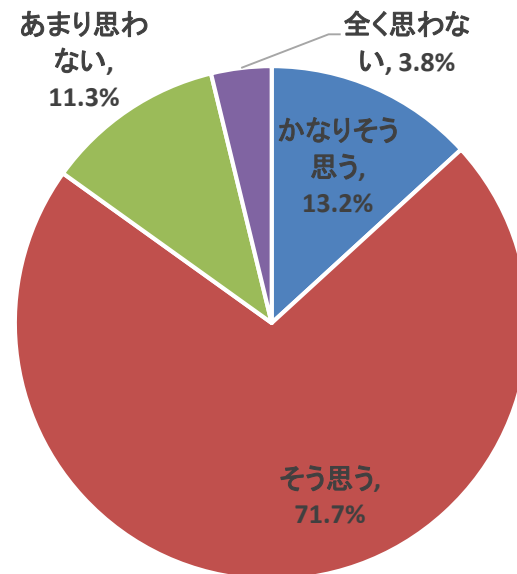
フォーミュラに関する意識調査（その4）

● 八尾市立病院でフォーミュラを作成するにあたって思われること

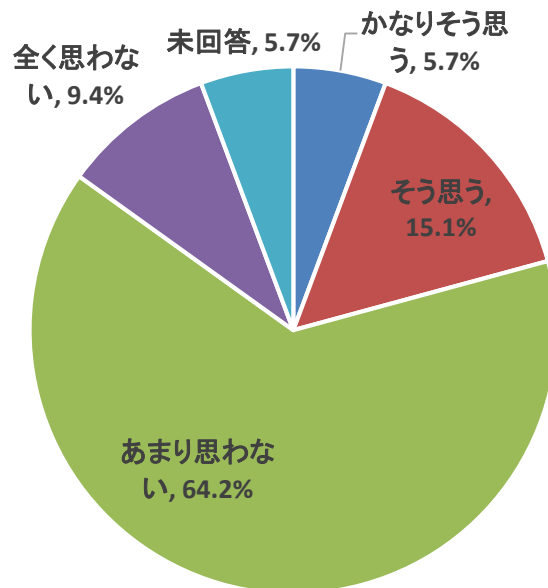
3 策定手順に問題がある



4 品目や薬効群によって意見が異なる



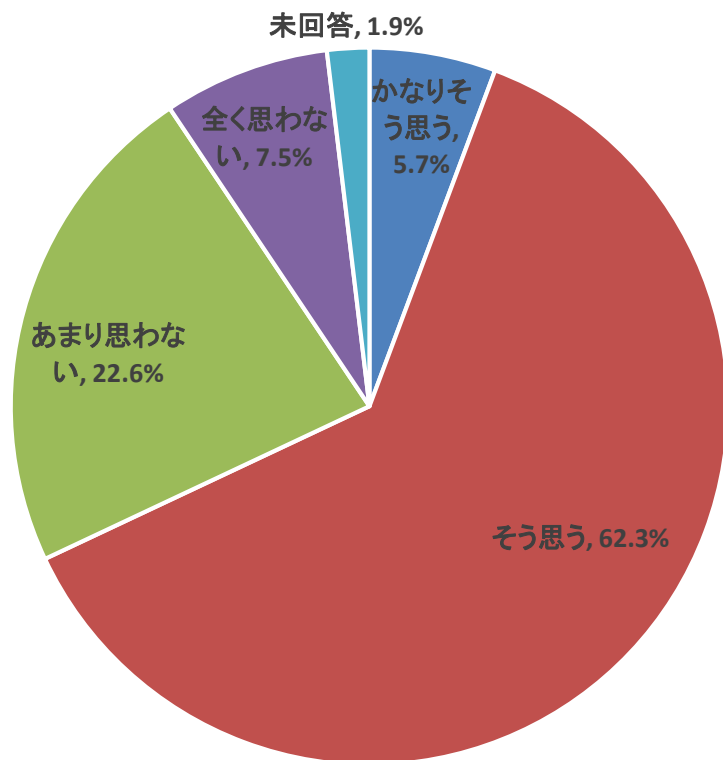
5 医師の処方に干渉すべきでない



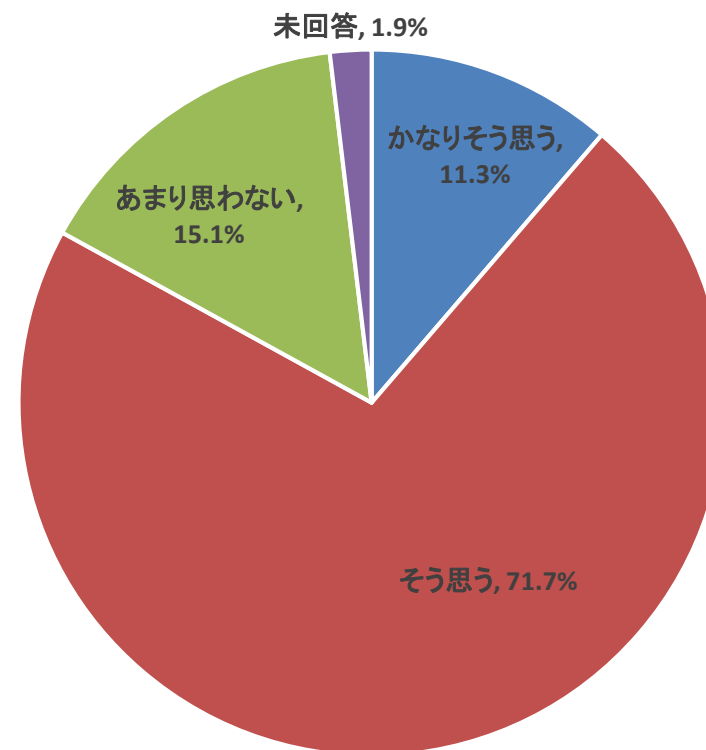
フォーミュラに関する意識調査（その5）

● 八尾市立病院でフォーミュラを作成するにあたって思われること

6 病院の判断に任せる

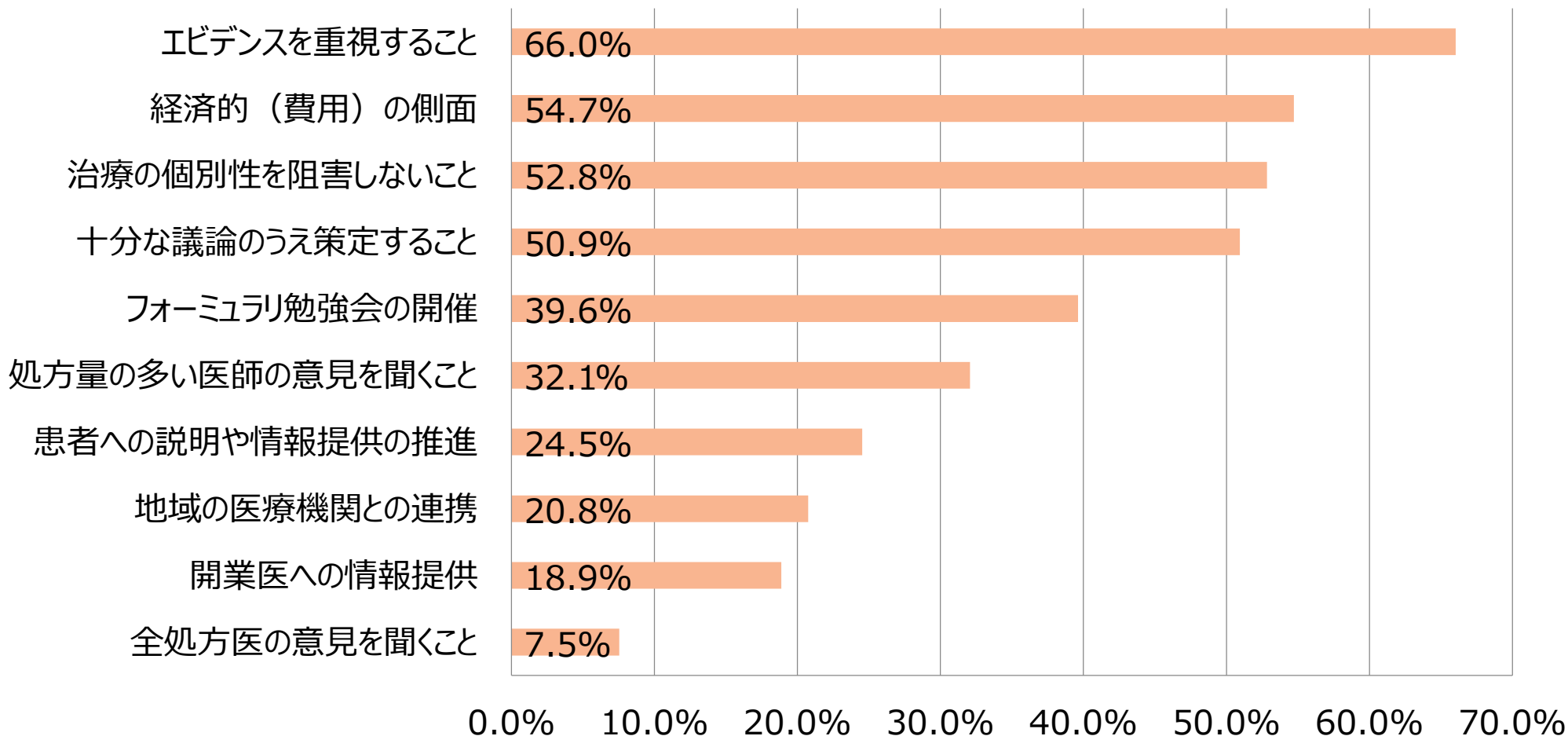


7 病院の経営改善につながる



フォーミュラに関する意識調査（その6）

- フォーミュラ（推奨薬リスト）を作成するにあたって必要と思われることは何でしょうか。
(複数回答)



八尾市立病院 フォーミュラ策定手順

Step1

- 2剤以上採用のある同種同効薬群を列挙し、さらに後発医薬品の採用がある薬効群について検討する。
- また、後発医薬品が新たに発売される時期にも検討する。

Step2

- 薬剤部において作成したフォーミュラの原案を薬事委員会に提出し、承認を得る。
- 薬事委員に回覧し、書類上で承認を得ることも可とする。

Step3

- 原案でヒアリングを行うとした各診療科部長に、ヒアリングシートとフォーミュラの原案を配布する。
- 必要に応じて各診療科部長と個別に協議し、フォーミュラ案を作成する。

Step4

- 完成したフォーミュラ案を薬事委員会に提出し、承認を得る。
- 薬事委員に回覧し、書類上で承認を得ることも可とする。

Step5

- 承認を得たフォーミュラを、院内周知し、運用を開始する。
- 必要に応じて処方オーダ時に情報提供・注意喚起を行う。

八尾市立病院の院内フォーミュラリ(案)

1_消化性潰瘍治療薬（PPI/プロトンポンプ阻害剤）注射剤

第1選択：オメプラゾール注用20mg

第2選択：タケプロン静注用30mg

（※原則、相互作用のあるワルファリンorクロピドグレルを服用している長期にPPI注射剤治療が必要な患者）

2_消化性潰瘍治療薬（PPI/プロトンポンプ阻害剤）経口剤

第1選択：ランソプラゾール 又は オメプラゾール

第2選択：ネキシウム 又は タケキャブ

第2選択・第3選択を処方（オーダー）すると、注意喚起（ポップアップ）が表示される。

3_抗インフルエンザウイルス薬

第1選択：オセルタミビル

第2選択：イナビル

第3選択：ゾフルーザ（特定患者用）